

ギニア月報(2019年4月)

主な出来事

【内政】

- 3日, 主要野党は, 護憲国民戦線(Front National pour la Défense de la Constitution: FNDC)を結成。コンデ大統領の三選に向けた動向に反対を表明した。
- 5日, 大統領令により, エネルギー・水力省が分割されて, エネルギー省と水利・衛生化省が設置された。シラ・エネルギー・水力大臣は, エネルギー大臣に任命され, 水利・衛生化大臣には, パパ・コリー・クルマGRUP(Génération pour la République, l'Unité et la Réconciliation)党党首が任命された。

【外政】

- 7日, アルシーシ・エジプト大統領がギニアを公式訪問し, コンデ大統領と会談。報道, スポーツ, 文化, 通商協力の各分野に係るMOUに署名した。
- 25日から27日にかけて, コンデ大統領は, コートジボワールを訪問し, ウワタラ・コートジボワール大統領と会談。両国国境地帯の治安確保に向けた協力, 実施中の道路及び電力網整備計画の完工に向けて合意したほか, サン・ペドロ港(コートジボワール)とニンバ山鉱山地域, さらにコナクリまで延伸させる鉄道の建設計画に言及した。また, マノ・リバー・ユニオン首脳会合の早期実施の必要性に言及した。

【経済(経済協力含む)】

- 24日から26日かけて, コナクリ市にて, 第6回ギニア鉱山シンポジウム開催。初日の開会式には, コンデ大統領等が出席。
- 30日, コンデ大統領は官邸にて, ギニア政府関係者及び中国企業TBEA社幹部の訪問を受け, ギニア政府とTBEA社は, アマリア水力発電ダムに係るコンセッション(運営権)契約を締結。

1 内政

- ・ 3日, 主要野党は, 護憲国民戦線(Front National pour la Défense de la Constitution: FNDC)を結成。コンデ大統領の三選に向けた動向に反対を表明した。
- ・ 5日, 国民議会通常会期が開会。
- ・ 5日, 大統領令により, エネルギー・水力省が分割されて, エネルギー省と水利・衛生化省が設置された。シラ・エネルギー・水力大臣は, エネルギー大臣に任命され, 水利・衛生化大臣には, パパ・コリー・クルマGRUP(Génération pour la République, l'Unité et la Réconciliation)党党首が任命された。クルマ大臣は, 2010年及び2015年の大統領選挙に出馬(いずれも第一回目投票で落選)し, コンデ第一期政権(2010~2015年)では, エネルギー・水力大臣を務め, 前回大統領選挙以降は大統領顧問に就いていた。また, 水利・衛生化省次官には, ディアロ・ギニア水公社(SEG)社長が任命された。

2 外政

- ・ 2日, コンデ大統領はサル・セネガル大統領就任式に出席。
- ・ 7日, アルシーシ・エジプト大統領がギニアを公式訪問し, コンデ大統領と会談。報道, スポーツ, 文化, 通商協力の各分野に係るMOUに署名した。
- ・ 24日, コンデ大統領は, 大統領官邸にて, ギニア訪問中のカバ・シエラレオネ外相と会談。カバ外相からコンデ大統領に対し, 二国間関係強化に係るビオ・シエラレオネ大統領の親書が手渡された。
- ・ 25日, コンデ大統領は, 自身主宰閣議にて, クウェート在住ギニア国民に対する迫害報道について懸念を表明。大統領は, トゥーレ外相に対し, 当地のギニア大使館を通じて本件を緊密にフォローし, 万一の場合には, 被害者の自発的な帰国のために必要な措置をとるよう指示した。また, 関係当局に対し, このような不法移民を生み出す地下組織の特定と解体に向けて, 必要な調査を開始するよう指示した。
- ・ 25日から27日にかけて, コンデ大統領は, コートジボワールを訪問し, ウワタラ・コートジボワール大統領と会談。両国国境地帯の治安確保に向けた協力, 実施中の道路及び電力網整備計画の完工に向けて合意したほか, サン・ペドロ港(コートジボワール)とニンバ山鉦山地域, さらにコナクリまで延伸させる鉄道の建設計画に言及した。また, マノ・リバー・ユニオン首脳会合の早期実施の必要性に言及した。
- ・ 29日から5月3日にかけて, コナクリ市にて, 外務・在外自国民省主催の「外交会議(Conférence diplomatique)」が開催され, 各国に駐在しているギニア大使・領事と政府閣僚が出席。初日には, コンデ大統領主宰で開会式が行われた。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 1日, カマラ経済・財政大臣は, 世界銀行及び仏開発機構(AFD)との間で, 電力網整備に係る1億米ドル融資協定に署名。国際開発協会(IDA)及びAFDから各5千万米ドルが融資されて, コナクリ含む主要都市の電力供給が改善される見通し。
- ・ 10日, 中国鉦山企業CDM—Chine 社(Compagnie de Développement des Mines Internationales Henan Chine/Guinee, SA)のテリメレ県鉦山にて従事する労働者らは, 労働条件の改善(清潔な飲料水の確保, 給料の倍増等)を求めるストライキを開始した。15日, CDM—Chine 社と労働組合は, ギニア鉦山・地質省の後援と労働監察官の仲介の下, 労使協定議定書に署名し, 同社は労組側の19点の要求(財政面及び事務面における労働環境の適法化, 扶養手当の支給, 医療手当の全額支給, 罰金の禁止等)を受け入れることで合意。さらに, 今後二年間は, ストライキを中止し, 対話を促進することについても合意した。
- ・ 12日から14日にかけて, ディアロ計画・経済開発大臣, カマラ経済・財政大臣等は, ワシントンDC(米国)にて開催された世界銀行春期会合に出席。主な成果は, ギニアの開発政策に対する世銀の1億米ドル供与の決定, ローカルガバナンス案件に対する国際開発協会(IDA)を通じた4千万米ドル融資協定署名, アフリカ高等教育支援「Africa center of Excellence プロジェクト」に対するIDAを通じた1千万米ドル融資協定署名, 高地・中部ギニ

ア農業振興に関する石油輸出国機構(OPEC)国際開発基金(OFID)を通じた2千5百万米ドル融資協定署名, IBRD-Enclave 計画に対するIDAを通じた最大2億米ドル融資の決定など。

- ・ 24日, 無償資金協力「第二次首都圏周辺地域小中学校建設計画」の起工式が開催されて, 松原英夫・駐ギニア日本大使, ケイタ協力・アフリカ統合大臣, サンガレ国民教育・識字化大臣らが出席。
- ・ 24日, 「ギニア首都圏飲料水供給改善計画フォローアップ協力」の竣工式が開催されて, 松原英夫・駐ギニア日本大使, ケイタ協力・アフリカ統合大臣, クルマ水利・衛生化大臣らが出席。
- ・ 24日から26日かけて, コナクリ市にて, 第6回ギニア鉱山シンポジウム開催。初日の開会式には, コンデ大統領等が出席。
- ・ 25日から27日にかけて, ケベック市(カナダ)にて, ギニア・カナダ経済フォーラムが開催され, ギニア側より, キュルティス投資・官民連携担当大臣, カマラ農業大臣等が出席。
- ・ 25日, コンデ大統領主宰閣議は, ブタンガス推進支援基金の創設に係る政令案を承認。同基金は, ブタンガス普及国家戦略の実施, 生産価格と特別設定価格との間の是正, 販売・流通戦略実施を通じたブタンガス消費奨励等に充てられる。クリバリ炭化水素担当大臣は, ブタンガスの消費促進により, 乱伐から植生を保護しつつ国家のエネルギーニーズを充足できると説明した。
- ・ 29日, 松原英夫・駐ギニア日本大使とケイタ協力・アフリカ統合大臣は, 平成30年度対ギニア無償資金協力「経済社会開発計画」(2億円)に署名。ギニアの水産分野開発に資する資機材が供与される。
- ・ 29日, 平成29年度対ギニア無償資金協力「経済社会開発計画」(2億円)による医療機材の引渡式が, コナクリ市のイニヤス・ディーオン病院で行われ, 松原英夫・駐ギニア日本大使, ラマ保健大臣, ケイタ協力・アフリカ統合大臣等が出席。この計画は, 2017年6月のコンデ大統領の訪日(実務訪問賓客)の際に署名が行われ, コナクリ市のイニヤス・ディーオン病院及びドンカ病院, ボケ市とキンディア市の地方病院に医療機材等が供与された。
- ・ 30日, コンデ大統領は官邸にて, ギニア政府関係者及び中国企業TBEA社幹部の訪問を受け, ギニア政府とTBEA社は, アマリア水力発電ダムに係るコンセッション(運営権)契約を締結。契約締結は, ギニア政府よりシェック・タリビー・シラ・エネルギー大臣及びママディ・カマラ経済・財政大臣, TBEA社より同社副社長の間で行われた。アマリア水力発電ダム建設は, デュブレカ県(ギニア沿岸地域)のコンクレ河川に建設され, 発電量は300メガワットとなる予定。2018年1月19日にコンデ大統領出席の下起工され, 工期は56か月を予定。1万人の直接雇用が見込まれている。

(了)